

組合員専用WEBページ



トップページ右上の
組合員はこちらを

パスコード: kd2024 (半角小文字) でログイン



神奈川土建一般労働組合機関紙

神奈川土建ホームページ 神奈川土建 検索

発行所
 神奈川土建一般労働組合
 〒221-0045 横浜市神奈川区
 神奈川2-19-3
 建設プラザかながわ
 ☎045(453)9806 (代表)
 発行人 西川 智幸
 編集人 古溝 潤
 定価60円
 (神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

2024年春 第79回大手企業交渉

大幅な賃上げ求めて大手各社と交渉



交渉に向けて意思統一する仲間

ゼネコン・住宅企業と一斉交渉

全国建設労働組合総連合・関東地方協議会は4月18日・19日を中心に大手ゼネコン22社、大手住宅企業8社、大手サブコン3社、計33社との交渉を行いました。実質賃金が前年比で23か月連続マイナスとなる中、技能労働者の抜本的な賃上げを各社に要求しました。

大成建設は2023年秋の賃金回答から年収で29万円上昇、竹中工務店は40代技能労働者の年収は600万円とそれぞれ回答、2023年春の国

1次下請以降はそれぞれの契約下であり、元請として労務費支払いまで関与できないと答え、現場技能労働者の処遇に関与しない無責任な姿勢を見せる結果となりました。交渉団からは、民間企業同士の契約であっても、労務費のダンピングが続く限り、新たな担い手は見込めず、そのことはゼネコンにとっても死活問題になることを強く訴え、次回交渉では抜本的な賃上げ施策を打ち出

し、技能労働者の賃金に直接反映されることを要求しました。他にも戸田建設の賃金調査では、年収441万円と答えており、2014年に日建連が打ち出した40代・年収600万には到底及ばない調査結果を示しました。全体として、2023

年春に国と業界で確認された3%の賃上げ目標に、ゼネコン各社には届いておらず、1次には適切な労務費を見積りに計上するように指導しているといった代わり映えない回答に止まりました。



大手ゼネコンと交渉する荒井副委員長 (右から2番目)

2024年第213通常国会では、建設業法・公共工事品確法・公共工事入契法を合わせた担い手3法が改正される法案が審議されることとなります。この改正の中で最も重要な点は技能労働者の処遇改善であり、労務費の確保・ダンピングが強く規制されることとなります。建設業法改正案では、1次が受取った労務費が2次3次に雇用される技能労働者の労務費に減額されることなく支払われる方策が盛り込ま

本気度が疑われる回答散見

春の大手企業交渉は、いわゆる働き方改革が4月から建設業に適用され、常態化した長時間労働の抜本的な解決が求められる中の開催となりました。特に週40時間労働と工期の関係で言えば、少なくないギャップが存在していることは事実です。また、有給休暇や週休二日制を担保する大幅な単価の引上げ等の課題も残されたまま

です。それ故に今回の交渉は、これまで以上に元請企業の業界刷新に向けた姿勢が強く問われることとなりました。しかし、元請各社の回答に新鮮味はなく、持続可能な産業への転換に目を背ける残念な結果となりました。

技能労働者の処遇改善のために全建総連が提起した持続可能な建設業を目指すための100万人署名に取り組みできました。第3次担い手3法改正法案の成立を求め、こ

の署名運動を力に法案成立を求めていきたいと思います。今後法案が成立されれば、大手企業交渉の中で、下請け技能労働者の賃金は関与できないといった回答はできず、責任を負うことになりま

す。引き続き仲間の声を集め、処遇改善と現場環境の改善を大手企業に求めていきます。

大安吉日

様々な媒体で少額投資非課税制度、いわゆるNISA

(ニーサ)が盛んに宣伝されている。厚生年金の蚊帳の外おかれた建設職人が給付される国民年金の額は雀の涙。将来的な年金給付に疑念を持つ若者など、老後に必要な生活費に対する不安が渦巻いている。そんな中での投資話に心動かされている人もいるようだ▼アメリカ国民は金融資産の3分の1を株式投資しているという。このようなアメリカ型の資産形成を日本の政府も目論んでいるようだ。その動きは、先日の日銀のマイナス金利解除と深くかわりがありそうだが▼あれもこれも個人の責任としたら思惑がその中に隠れていそうな感じが透けて見える。裏金を自らの懐に入れ脱税し、我々にはインボイスで税金を搾り取ることに血道をあげる一方で、口だけの「国民目線」▼日本は世界でも特異な「賃金の上がない国」、自己責任の株式投資で自助努力せよと言わんばかりの政府の責任転嫁に、国民の一票の重みを知らしめる時が来たのではないだろうか。本来の政治がなすべき様々な福祉と生活権を取り戻す為の行動を起こしたい。



拡大率全県トップを勝ち取った川崎支部



節目の前倒しを意識して奮闘した大和支部



常勝の横浜鶴見支部は30期連続で目標達成

2024年春の組織強化拡大月間 1166人の新しい仲間を迎える

仲間増やしと事業所対策に全力

建設国保の優位性を押し出し仲間増やし

市町村国保の保険料が軒並み値上げされる中、建設国保は保険料等級を31級に細分化し、家族保険料を廃止したことで、保険料の面でも一段と優位性を増しました。傷病手当金や医療機関の窓口負担払い戻し制度、家族も無料の健康診断などを前面に押し出して加入を訴えました。その結果、建設国保は1年間を通じて被保険者数が実増しました。

法令遵守で事業所にアンケートを実施
労働時間の上限規制を含む改正労働基準法が4

月から建設業にも適用されるに当たり、約4千社の組織内事業所を訪問して、法令遵守の現状を問うアンケートを実施し、約2千社から回答を得ました。その結果、半数を超える事業所で法令を遵守するに当たって、大小の困難を抱えていることがわかりました。

事業所サポート体制強化の必要性を確認

中央執行委員会は、厳しいアンケート結果が示されたことを受け、現状のまま組織内事業所が労働基準監督署による臨検監督を求められた際、これを支障なく乗り越えることは極めて難しいと判断し、法令遵守に的を

絞った事業所対策を引き続き実施すると共に、サポート体制を強化することを確認しました。

具体的には、6月からの3か月間で残り約2千社のアンケート調査を完了させ、準備が整っていない事業所への再訪問や電話相談、仲間の進捗レベルに応じたセミナーの実施などを通じて、一社も取り残さない事業所対策に取り組みます。

8支部が年間実増を勝ち取り月間打上げ

春の組織強化拡大月間は、組合員の10%が仲間増やしの活動に参加すると共に、前年度末人員から1%の組合員増勢に挑戦する運動も取りまとめ

2024春の組織強化拡大月間・最終結果

支部名	12月人員	目標	到達	拡大率	達成率
横浜	1,229	87	46	3.74%	52.87%
横浜緑	1,533	100	76	4.96%	76.00%
南横浜	952	65	36	3.78%	55.38%
横浜西	1,400	100	68	4.86%	68.00%
横浜中央	1,340	99	49	3.66%	49.49%
横浜戸塚	1,249	100	50	4.00%	50.00%
横浜鶴見	1,141	65	69	6.05%	106.15%
川崎	1,630	100	111	6.81%	111.00%
川崎中央	1,646	85	61	3.71%	71.76%
川崎西	918	74	30	3.27%	40.54%
横須賀三浦	3,045	177	133	4.37%	75.14%
湘南	1,173	96	45	3.84%	46.88%
大和	1,397	84	87	6.23%	103.57%
厚木	981	59	44	4.49%	74.58%
相模原	2,405	162	78	3.24%	48.15%
平塚	1,514	77	55	3.63%	71.43%
西相	1,136	80	45	3.96%	56.25%
座間海老名	924	61	50	5.41%	81.97%
茅ヶ崎寒川	975	59	23	2.36%	38.98%
鎌倉逗子葉山	555	33	10	1.80%	30.30%
合計	27,143	1,763	1,166	4.30%	66.14%

数は力！仲間増やしの歩みを前へ



赤岩組織部長

ました。しかし、残念ながら組織全体では228人の人員減と後退を余儀なくされました。一方で、6支部が年1%実増を勝ち取り、2支部が実増となりました。

春の組織強化拡大月間は1166人の新たな仲間を迎え入れ打ち上げました。群・分会・支部役員を先頭に、組合員と家族のみなさんの奮闘に心から敬意を表します。

今月間は「持続可能な建設産業の実現に向けた100万人国会請願署名」に取り組み中、「建設産業を良くするために仲間を増やそう、運動に参加しよう」と呼掛けて運動に取り組みました。

足元では、いわゆる働き方改革が4月から建設業に適用され、仲間を取り

巻く情勢は大きな転換期を迎えています。仲間には困難があるからこそ、私たち労働組合の真価が問われます。事業所が安心して働き続けられる職場環境を整備し、それを下支えする単価の大幅な引き上げを勝ち取ることが最も重要な課題です。

一人ひとりの力は弱くても、たくさんの仲間が団結して声を上げれば、民主的な建設産業の実現に向けた取り組みは、必ずや実を結ぶはずですよ。

事実、ここ10年あまりで偽装請負の是正が進み、法定福利費獲得運動と共に多くの仲間が厚生年金に加入することができました。

数は力。仲間増やしの歩みを更に進めよう。

いちごと土産と防災体験

〔横浜〕



首都直下地震の備えを学ぶ

生き抜く知恵を学ぶことができました。災害時の基本的な備えの学習ゾーンや防災体験ゾーンを経験し、学び多き中盤決起集会となりました。

最終盤サントリー行動で押上げ

〔横須賀三浦〕

須賀三浦支部は春の拡大統月間も最終盤に差し掛かる4月7日、サントリー行動を開催し、総勢88人が行動に参加しました。支部事務所を意思統一した後、車に分乗して各地域へ訪問行動に向かいました。日曜日は行楽などで不在が多く会えないことも多いのですが、この日の訪問件数156件中、116人と対話できました。その結果、組合員7人と青年部1人、主婦の会5人の加入書が寄せられました。佐原分会、一騎塚分会からは目標達成の嬉しい報告がありました。午後からは、組合事務所1階でBBQ大会を開催し、大いに英気を養いました。



みんなで拡大成果を祝う

持続可能な建設業の実現を!

建設技能労働者の抜本的な処遇改善を求め 通常国会へ100万人請願署名を提出



建設業で働く仲間の処遇改善は長年の課題であり、抜本的な改訂がされないまま現状が放置され続け、深刻な影響が及ぶ恐れがあります。また、自然災害が多発するこの国にとって、復旧・復興工事、防災・減災工事などに従事する中小事業者及びその労働者はなくてはならない存在です。

神奈川県建設労働組合連合会は4月9日、衆議院第2議員会館に集まり、「持続可能な建設業に向けた100万人署名」提出集会を開き、神奈川県選出の国会議員に、私たちがこの間取り組んだ署名を直接手渡ししました。この請願署名に賛同・紹介をいただいた県内選出の国会議員は、自民党3人、立憲民主党8人、公明党2人、日本共産党1人の合計14人となりました。

神奈川土建は組合員数の2倍を署名集約を目標とし、横浜緑支部、横浜西支部、横浜中央支部、川崎支部、川崎西支部、湘南支部、大和支部、厚木支部、相模原支部、西相支部、座間海老名支部、茅ヶ崎寒川支部の12支部が目標を超過、全体で組合員数の2倍を超える5万4千883筆の署名を通常国会に提出しました。

2024年度税制改正大綱に沿った税法改正により、6月以降最初に支払う給与等の源泉徴収から、定額減税を行うこととなります。制度の実務が明らかになるにつれて、事務負担やミスが多発を心配する声が上がっています。減税は所得税(国税)と住民税(地方税)を、仲間同士で理解を深めて欲しい」と建設産業と組合の未来を展望します。最後に、「多くの仲間が問題意識を持って活動に参加するようになれば、もっと組合員が増え、働くものの声が大きくなり、世の中も良くなっていくと信じています!」と力強く結んでくれました。



佐々木税対部長

【田中克幸・記】

茅ヶ崎寒川支部は3月31日、寒川セントラルボウルにて「春休み!家族みんなでボウリング大会」を100人で開催。最年少の参加者は生後4か月の赤ちゃんでした。表彰式・交流会で人気を博したのは「うまい棒ハウス」。後継者対策と技術対策の共同作業で作りました。しかし、予想以上の大きくなり、使ったうまい棒は実に2200本に上りました。ハウスの屋根や壁を埋めつくす「うまい棒」を手づかみではがしていく体験に集まった子ども達は大喜びでした。当日の様子および制作動画は、茅ヶ崎寒川支部インスタグラムに投稿しています。



異彩を放つうまい棒ハウス

【茅ヶ崎寒川】



持続可能な建設産業と組合を展望して

から徒歩2分に事務所を構えていた川崎中央支部に迷わず加入しました。「組合に加入して仲間のつながりが広がって良かった」と語る狩野さん。「このつながりを活かして、無理な営業をせずとも、仲間内で仕事を上手く回したい」と熱く理想を語ります。

青年部の活動では、川崎地域の他組合の青年部と合同で地引網の開催を計画しており、組織の垣根を超えた横のつながりも重視しています。青年部が将来的に組合の活動を担っていく可能性を秘めていることに対し、親組合がもっと青年部の活動に関心を持ち、至らな

い点があればほとんど助言や叱咤をして欲しい。世代交代の課題を次の世代も交えて考え、共に解決に向けて歩んで欲しいと訴えかけます。

大和支部は3月31日、終盤決起集会を二宮町の観光地引網船「市五郎丸」で開催し、地引網と大バーベキュー大会を行いました。当日は風が強く、網が出せなくなるか危ぶまれましたが、市五郎丸スタッフの的確な判断に助けられ、「皆さん、地引きます!」の掛け声のもと、総勢100人の仲間による地引網漁が実現しました。まぶしい日差しと海風の中、とれた魚をお刺身や釜揚げにして味わい、ゲームで盛り上がるなど、楽しく、拡大達成への決意を新たにす一日となりました。大和支部は、打ち上げを待たずに目標達成、最終結果では目標を3人超過する87人の到達を果たしました。



エビバディ・アップ! 立ち上げ

【吉兆を告げる大漁旗「大和」

能登半島応急仮設建設で大奮闘!

被災者のための応急木造仮設住宅建設に 10支部・23人の仲間が現地へ駆けつける

神奈川全体で39人が現地入り 551戸の木造仮設建設に尽力



神奈川土建から参加した仲間

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で多くの被災者が自宅を失い、いまだに大勢の方が避難所暮らしを強いられています。

全建総連では、3月18日から応急仮設木造住宅建設に取り掛かり、6月末までに551戸の木造仮設住宅を供給する予定となっています。

神奈川土建からは、4月1日より5月25日の工事期間で、10支部から計23人の仲間が被災地復興工事に手を上げていただきました。期間を定めた労働者として建方工事から内装工事まで、木造にかかわる施工に従事しています。木造はプレハブとは異なり、断熱性、遮音性に優れており、東日本大震災から続くこの



建て方工事を終えた仮設住宅

応急木造仮設住宅の利点が被災者の暮らしの安心に繋がっています。プレハブは屋根にあたる雨音が気になる、睡眠障害に罹る方もいる一方で、木造は地元石川県の瓦を使い、雨音や遮音の問題をクリアしており、居住者の生活に配慮した仮設住宅となっています。

石川県では4500戸超の応急仮設住宅が建設されますが、完成に時間がかかる木造は全体の1割強に留まっています。

しかし、入居後2年を目途に取り壊されるプレハブとは異なり、2年経過後は県営住宅に転用され、復興に向けた住宅基盤として地域で活用されることとなります。

今後の有事の際にも建設技能労働者の力が必ず必要となります。今回の取り組み経験を活かし、大工職を中心に各支部から3人の事前登録の準備をはじめます。その際にご協力をお願いいたします。

今月のテーマ

時々早歩きで健康効果が上がります

5月は梅雨入り前で天候が良く身体を動かすのにも良い時期ですね。梅雨入り前のこの時期にウォーキングをされる方も多くいます。そのウォーキングの効果を上昇させるには時々早歩きを取り入れるとさらに効果的です。

有酸素と筋力アップ効果

その方法は一定のペースの歩行と少し息があがる程度の早歩きを交互に行います。疲れたらペースを落とし、復活したら早めに戻るとさらに効果的です。

時短で目的に

さらにもう一つの利点は時間効率が良いことです。時短で効果的な運動が出来ます。移動時に行

2分早歩き、2分通常歩き

具体的な方法は、最初の5分は通常速度で歩きはじめ、その後約2分早歩き、約2分通常速度を繰り返します。きつちり時間を決めずに体調や気分に合わせて調整を行って下さい。



市川可奈子保健師の

健康の

ススメ

書記局員募集

組織力強化の一環として新たな人材を募集します。

- 応募条件
 - 高卒以上・35歳まで(若年層の長期キャリア形成のため)
 - 要普通免許(AT限定可)・基本的なPCスキル
- 給与・福利厚生
 - 基本給は年齢・勤続年数等で変わります。
 - 通勤手当、扶養手当、その他手当
 - 賞与は年2回・退職金・社会保険完備
- 応募方法
 - 履歴書と職務経歴書を本部の採用担当者まで郵送
 - 〒220-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3建設プラザかながわ
 - 神奈川土建一般労働組合 採用担当者 TEL045-453-9806



技術センターだより

資格講習会のご案内

神奈川土建の講習

- 足場の組立て等作業主任者技能講習
 - (受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習)
 - 7月20日(土)～21日(日)
 - 会場：建設プラザかながわ
- 有機溶剤作業主任者技能講習
 - (受講料：14,000円、休憩を除く13時間講習)
 - 8月22日(木)～23日(金)
 - 会場：建設プラザかながわ
- 職長・安全衛生責任者教育 リスクアセスメント含
 - (受講料16,000円、休憩を除く14時間講習)
 - 9月14日(土)～15日(日) 会場：横浜戸塚支部
- 低圧電気取扱業務 特別教育
 - (受講料：8,000円、休憩を除く8時間講習)
 - 9月22日(日) 会場：建設プラザかながわ

神奈川建設労連の講習

- ※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。
- 小型移動式クレーン運転技能講習
 - (受講料54,000円(資格保持者50,000円))
 - 6月4日(火)、5日(水)、6日(木)
 - 会場 学科：建設プラザかながわ 実技：教習機関
- 足場の組立て等 特別教育
 - (受講料：7,000円、休憩を除く6時間講習)
 - 6月6日(木) 会場：建設プラザかながわ
- 高所作業車運転特別教育 (受講料：19,000円)
 - 6月11日(火)～12日(水)
 - 会場 学科：建設プラザかながわ 実技：教習機関
- 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習
 - (受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習)
 - 6月12日(水)～13日(木) 会場：建設プラザかながわ
- 足場の組立て等作業主任者技能講習
 - (受講料：10,000円、休憩を除く14時間講習)
 - 6月18日(火)～19日(水) 会場：建設プラザかながわ
- フルハーネス型安全帯使用作業 特別教育
 - (受講料：8,000円、休憩を除く6時間講習)
 - 6月25日(火) 会場：建設プラザかながわ

その他の提携講習機関

nextPCT (旧：IHI技術教習所) コマツ教習所 PEO建機教習センター (旧：日立建機教習センター) 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

青年部マル得援助金のお知らせ

青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

申し込み、問合せは所属する支部事務所へ

☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪の見切れは受付不可)
☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。
☆日程変更や中止になる場合もありますのでご注意ください。
☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。
※募集の締切りは開催日2週前の平日です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに当センター提出してください。
※作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。